

I. 住民基本台帳に基づく人口及び人口動態の概要

1. 住民基本台帳に基づく人口

(1) 概要

人口は1,404,525人、10,508人の増加

住民基本台帳に基づく平成22年9月末現在の福岡市の人口は1,404,525人で、前年（平成21年9月末現在）に比べ10,508人増加し、増加率は0.8%となっています。

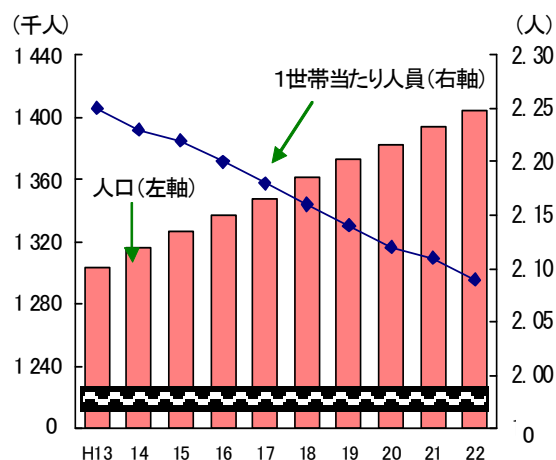
世帯数は671,525世帯で、前年に比べ9,485世帯の増加、増加率は1.4%で、人口の増加率を上回っています。

性別に見ると、男性は667,402人で、前年比5,226人（増加率0.8%）の増加、女性は737,123人で、前年比5,282人（同0.7%）の増加となっています。女性を100としたときの男性の割合を示す「性比」は90.5で、年々下降を続けていましたが、平成20年から3年連続で同じ割合となっています。

1世帯当たり人員は2.09人で、前年比0.02人の減少となりました。

人口、世帯数ともに、毎年増加していますが、人口の伸びを世帯数の伸びが上回っているため、1世帯当たり人員は減少が続いています。

図1 人口及び1世帯当たり人員の推移



(2) 行政区別人口

人口増加は東区と博多区に集中

行政区別に見ると、人口は、東区の279,121人が最も多く、次いで南区の243,832人、早良区の209,681人の順になっており、世帯数は、東区の127,415世帯が最も多く、次いで南区の113,143世帯、博多区の109,472世帯となっています。人口、世帯数ともに最も少ないのは城南区となっています。

平成21年に比べ、世帯数は全ての区で増加していますが、人口は城南区のみ僅かに減少しています。

表1 世帯数及び人口等の推移

年	世帯数		人口		男	女	性比	1世帯当たり人員
	世帯	前年増加率	人	前年増加率				
		%		%	人	人		人
平成13年	579 166	1.7	1 303 253	0.9	624 601	678 652	92.0	2.25
14年	589 349	1.8	1 316 222	1.0	630 069	686 153	91.8	2.23
15年	598 954	1.6	1 327 099	0.8	634 863	692 236	91.7	2.22
16年	608 510	1.6	1 337 576	0.8	639 168	698 408	91.5	2.20
17年	618 034	1.6	1 347 823	0.8	642 842	704 981	91.2	2.18
18年	630 866	2.1	1 361 060	1.0	648 387	712 673	91.0	2.16
19年	642 514	1.8	1 372 840	0.9	652 935	719 905	90.7	2.14
20年	652 282	1.5	1 382 563	0.7	656 798	725 765	90.5	2.12
21年	662 040	1.5	1 394 017	0.8	662 176	731 841	90.5	2.11
平成22年	671 525	1.4	1 404 525	0.8	667 402	737 123	90.5	2.09

人口の増加は東区と博多区に集中しており、2区の計5,953人は福岡市全体の増加分の約57%となっています。

性比を見ると、中央区が79.1と女性の割合が高いのに対し、博多区（95.3）と東区（94.8）は、他の区に比べて男性の割合が高くなっています。

1世帯当たり人員を見ると、最も多いのは西区の2.38人で、以下、早良区の2.28人、東区の2.19人と続き、都心部に位置する中央区（1.76人）と博多区（1.79人）は、福岡市全体の2.09人を下回っています。

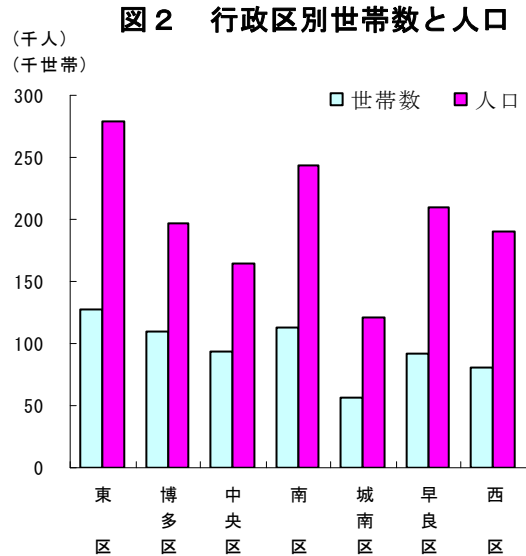


表2 行政区別世帯数及び人口

(各年9月末現在)																						
市・区	平成21年				平成22年																	
	世帯数		人 口		世帯数		増加率		人 口		増加率		構成比		男		女		性比	1世帯当 たり人員	面積	人口 密度
世帯	人	世帯	%	人	%	%	人	人	人	㎥	人/㎥											
福岡市	662 040	1 394 017	671 525	1.4	1 404 525	0.8	100.0	667 402	737 123	90.5	2.09	341.32	4 115									
東 区	125 028	275 663	127 415	1.9	279 121	1.3	19.9	135 837	143 284	94.8	2.19	67.98	4 106									
博多区	107 365	193 961	109 472	2.0	196 456	1.3	14.0	95 869	100 587	95.3	1.79	31.47	6 243									
中央区	92 121	162 892	93 407	1.4	164 489	1.0	11.7	72 658	91 831	79.1	1.76	15.16	10 850									
南 区	111 976	243 213	113 143	1.0	243 832	0.3	17.4	114 855	128 977	89.1	2.16	30.98	7 871									
城南区	56 102	121 125	56 238	0.2	120 970	△0.1	8.6	57 643	63 327	91.0	2.15	16.02	7 551									
早良区	91 032	209 505	91 909	1.0	209 681	0.1	14.9	99 722	109 959	90.7	2.28	95.88	2 187									
西 区	78 416	187 658	79 941	1.9	189 976	1.2	13.5	90 818	99 158	91.6	2.38	83.83	2 266									

注) 面積は平成22年10月1日現在

表 3 年齢階級別人口及び平均年齢

(平成22年 9 月末現在)

年 齢 (5 歳階級)	福岡市			東 区	博多区	中央区	南 区	城南区	早良区	西 区
	総 数	男	女							
総 数	1 404 525	667 402	737 123	279 121	196 456	164 489	243 832	120 970	209 681	189 976
0 ～ 4 歳	68 026	34 867	33 159	14 581	9 312	6 733	11 364	5 541	10 274	10 221
5 ～ 9	64 099	32 933	31 166	13 585	7 489	5 810	11 146	5 454	10 480	10 135
10 ～ 14	64 332	32 736	31 596	13 399	6 930	5 860	11 532	5 659	10 951	10 001
15 ～ 19	65 350	33 078	32 272	13 762	7 552	6 060	11 522	5 935	10 936	9 583
20 ～ 24	86 784	41 766	45 018	17 356	14 982	11 009	14 064	8 137	11 434	9 802
25 ～ 29	106 818	50 717	56 101	19 708	20 236	16 549	17 103	8 133	13 689	11 400
30 ～ 34	114 597	55 580	59 017	21 867	18 835	16 338	19 189	9 016	15 138	14 214
35 ～ 39	121 837	59 876	61 961	24 054	18 173	15 427	20 830	9 956	17 018	16 379
40 ～ 44	103 523	50 714	52 809	20 167	14 270	13 093	17 933	8 533	15 256	14 271
45 ～ 49	90 389	44 147	46 242	17 632	11 685	11 158	16 033	7 548	13 888	12 445
50 ～ 54	83 879	41 016	42 863	16 655	10 854	9 539	15 008	7 355	13 479	10 989
55 ～ 59	90 993	44 251	46 742	18 264	11 801	9 901	15 964	8 255	14 549	12 259
60 ～ 64	98 450	47 148	51 302	19 676	12 997	10 717	17 464	8 829	15 341	13 426
65 ～ 69	71 642	32 503	39 139	14 262	9 154	7 422	12 867	6 585	11 057	10 295
70 ～ 74	59 103	25 374	33 729	11 707	7 658	6 267	10 663	5 482	8 924	8 402
75 ～ 79	49 408	20 262	29 146	9 646	6 267	5 392	9 242	4 598	7 365	6 898
80 ～ 84	34 417	12 447	21 970	6 709	4 344	3 793	6 278	3 139	5 286	4 868
85 ～ 89	19 791	5 772	14 019	3 931	2 581	2 191	3 604	1 821	2 952	2 711
90 ～ 94	8 099	1 734	6 365	1 573	985	897	1 458	721	1 230	1 235
95 ～ 99	2 541	433	2 108	503	305	281	487	234	363	368
100歳以上	447	48	399	84	46	52	81	39	71	74
平均年齢	41.9	40.4	43.2	41.5	41.1	41.8	42.4	42.5	42.0	41.9
(区…男)				40.1	39.7	40.4	40.8	40.8	40.6	40.3
(区…女)				42.9	42.4	42.8	43.9	44.1	43.4	43.3

表 4 年齢別（3 区分）人口

(各年 9 月末現在)

年 齢 区 分	平成21年	平 成 22 年							
	福岡市	福岡市	東 区	博多区	中央区	南 区	城南区	早良区	西 区
年 少 人 口 (15歳未満)	195 287	196 457	41 565	23 731	18 403	34 042	16 654	31 705	30 357
構成比 (%)	14.0	14.0	14.9	12.1	11.2	14.0	13.8	15.1	16.0
生産年齢人口 (15～64歳)	958 622	962 620	189 141	141 385	119 791	165 110	81 697	140 728	124 768
構成比 (%)	68.8	68.5	67.8	72.0	72.8	67.7	67.5	67.1	65.7
老 年 人 口 (65歳以上)	240 108	245 448	48 415	31 340	26 295	44 680	22 619	37 248	34 851
構成比 (%)	17.2	17.5	17.3	16.0	16.0	18.3	18.7	17.8	18.3

年齢構成指数を見ると、「年少人口指数（生産年齢人口100に対する年少人口の比率）」は20.4、「老年人口指数（生産年齢人口100に対する老年人口の比率）」は25.5となっています。この二つを合わせた、生産年齢人口の扶養負担程度を示す「従属人口指数」は45.9で、前年に比べ0.5ポイント上昇しています。また、生産年齢人口の影響を受けないため、高齢化を敏感に示す「老年化指数（年少人口に対する老年人口の割合）」は124.9で、前年より1.9ポイント上昇しています。

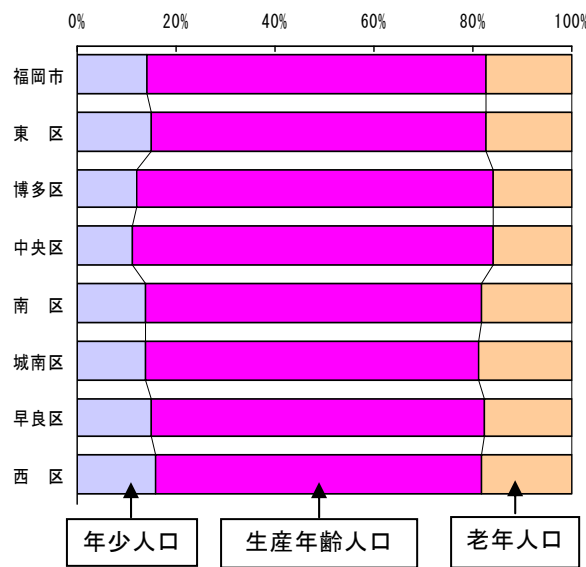
平成2年からの推移を見ると、総人口は増加しているものの、総人口に占める年少人口と生産年齢人口の割合は

減少し、一方で、老年人口の割合は大きく伸び、福岡市においても高齢化が進んでいることを示しています。

「人口ピラミッド」（5歳階級）を見ると、第1次ベビーブーム世代（1947～49年生まれ）を含む60歳代前半と、第2次ベビーブーム世代（1971～74年生まれ）を含む30歳代の人口が多く、19歳以下の人口が特に少ないことが分かります。

行政区別に見ても、概ね同じ傾向がありますが、都心部に位置する博多区や中央区と、周縁部の西区や早良区とを比べると、年齢構成の違いにより、ピラミッドの形も異なっていることが分かります。

図3 年齢別（3区分）人口（構成比）
（平成22年9月末現在）



《人口の年齢構成の特徴を表す指数》

年少人口指数

$$= \frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

老年人口指数

$$= \frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

従属人口指数

$$= \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

老年化指数

$$= \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

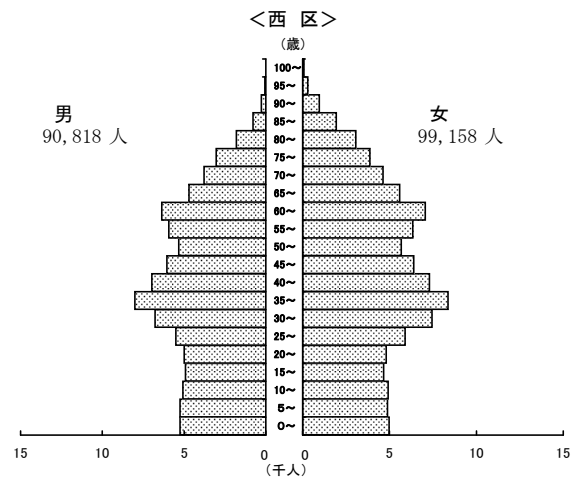
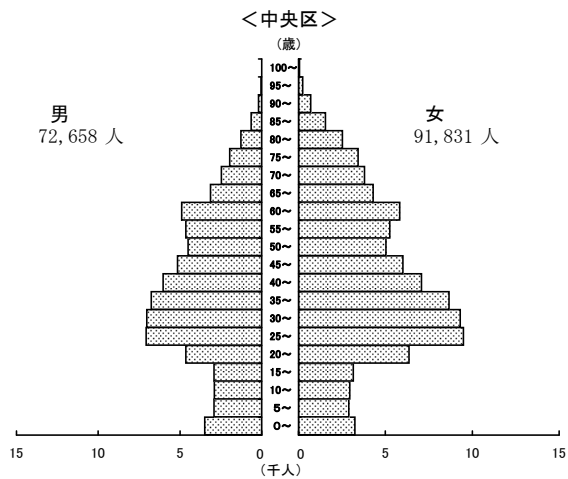
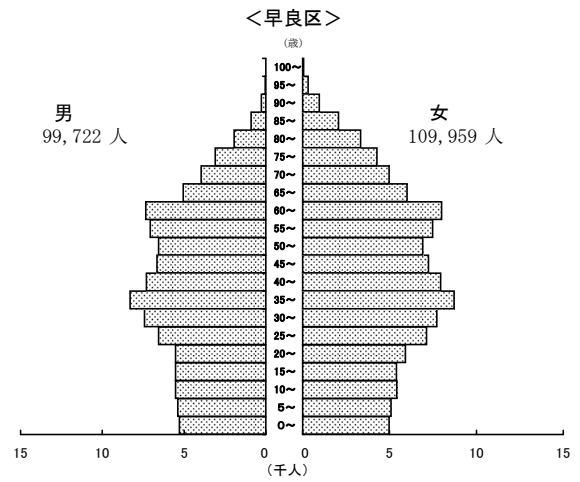
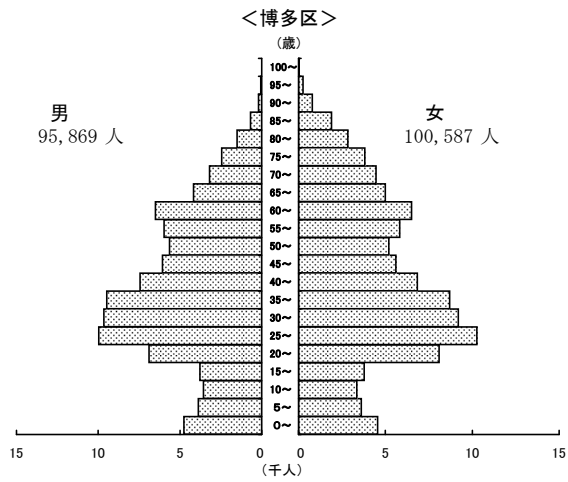
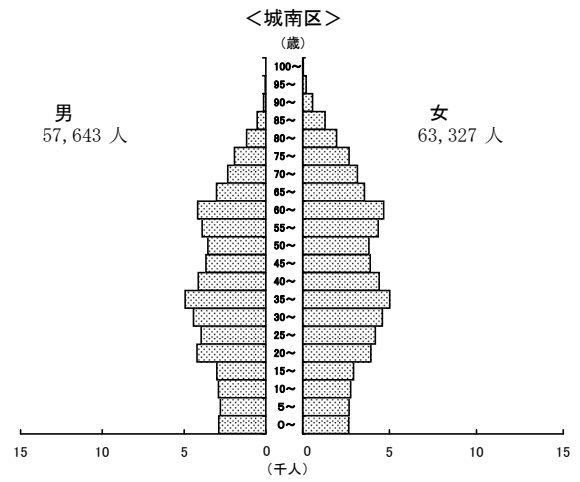
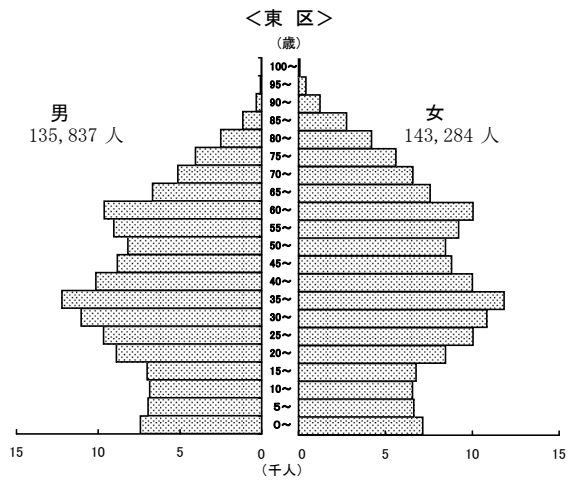
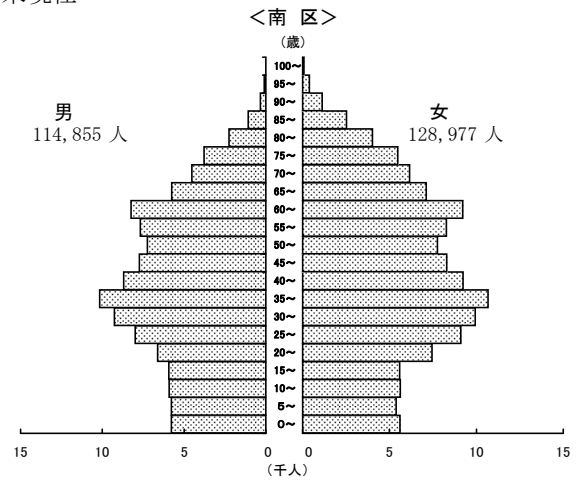
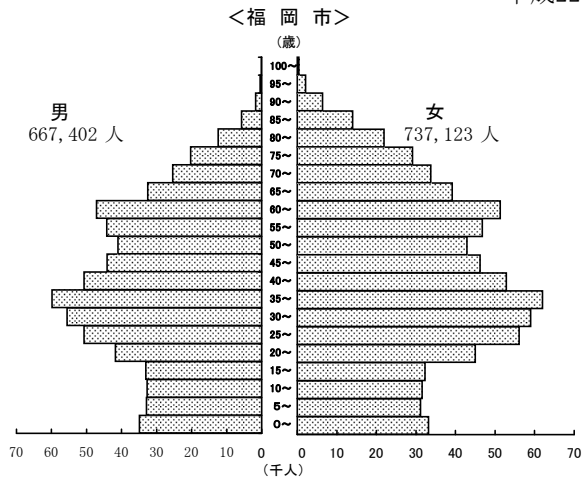
表5 平均年齢, 年齢（3区分）構成比及び年齢構成指数の推移

（各年9月末現在）

年	平均年齢 (歳)	人口総数	年少人口		生産年齢人口		老年人口		年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化 指数
			構成比		構成比		構成比					
平成2年	35.3	1 197 989	230 546	19.2%	856 772	71.5%	110 671	9.2%	26.9	12.9	39.8	48.0
7年	37.2	1 238 762	204 554	16.5%	895 018	72.3%	139 190	11.2%	22.9	15.6	38.4	68.0
12年	38.8	1 291 542	190 824	14.8%	927 609	71.8%	173 109	13.4%	20.6	18.7	39.2	90.7
17年	40.4	1 347 823	189 398	14.1%	950 768	70.5%	207 657	15.4%	19.9	21.8	41.8	109.6
20年	41.3	1 382 563	193 725	14.0%	957 148	69.2%	231 690	16.8%	20.2	24.2	44.4	119.6
21年	41.6	1 394 017	195 287	14.0%	958 622	68.8%	240 108	17.2%	20.4	25.0	45.4	123.0
22年	41.9	1 404 525	196 457	14.0%	962 620	68.5%	245 448	17.5%	20.4	25.5	45.9	124.9

図4 人口ピラミッド（5歳階級）

平成22年9月末現在



(4) 小学校区別人口

周船寺校区の人口増加が第1位

小学校通学区域別に見ると、人口が多いのは、平尾校区(中央区)の20,985人で、以下、那珂校区(博多区)の19,628人、博多校区(博多区)の18,689人と続きます。人口が最も少ないのは、曲淵校区(早良区)の202人で、次いで小呂校区(西区)210人、勝馬校区(東区)290人となっています。

人口増加数が最も多い校区は、周船寺校区(西区)の637人増で、次いで照葉校区(東区)の585人増となっています。

人口増加率は、照葉校区の18.4%が突出しており、人口増加率上位5校区は周縁部の東区と西区に位置しています。

性比を見ると、男性の比率が最も高いのは、筥松校区(東区)の110.9で、次

いで松島校区(東区)の108.2となっています。一方、女性の比率が最も高いのは、警固校区(中央区)の71.4で、上位5校区を中央区が占めています。

老年化指数は、志賀島校区(東区)が522.9で最も高く、次いで曲淵校区(早良区)の512.5、大名校区(中央区)の383.5が続いています。

年齢3区分別人口の割合を見ると、年少人口割合が最も高いのは照葉校区(東区)の33.9%で、次いで金武校区(西区)の23.0%となっています。老年人口割合が最も高いのは、曲淵校区(早良区)の40.6%で、次いで城浜校区(東区)の35.6%となっています。生産年齢人口割合は、東住吉校区(博多区)の81.4%が最も高く、上位5校区は都心部の博多区と中央区に位置しています。

表6 校区別人口各種比較(上位5校区)

(平成22年9月末現在)

【人口総数】				【人口増加数】				【人口増加率】			
校区 (行政区)	人口	男	女	校区 (行政区)	人口	増加数	増加率	校区 (行政区)	人口	増加数	増加率
	人	人	人		人	人	%		人	人	%
平尾(中央)	20 985	8 866	12 119	周船寺(西)	13 827	637	4.8	照葉(東)	3 769	585	18.4
那珂(博多)	19 628	9 953	9 675	照葉(東)	3 769	585	18.4	馬出(東)	9 698	525	5.7
博多(博多)	18 689	8 797	9 892	博多(博多)	18 689	533	2.9	玄洋(西)	9 824	502	5.4
香住丘(東)	17 012	8 434	8 578	馬出(東)	9 698	525	5.7	金武(西)	5 116	258	5.3
松島(東)	16 814	8 740	8 074	玄洋(西)	9 824	502	5.4	周船寺(西)	13 827	637	4.8
【性比－男性が多い】				【性比－女性が多い】				【老年化指数】			
校区 (行政区)	男	女	性比	校区 (行政区)	男	女	性比	校区 (行政区)	老年人口	年少人口	老年化指数
	人	人			人	人			人	人	
筥松(東)	6 763	6 101	110.9	警固(中央)	6 650	9 312	71.4	志賀島(東)	617	118	522.9
松島(東)	8 740	8 074	108.2	平尾(中央)	8 866	12 119	73.2	曲淵(早良)	82	16	512.5
吉塚(博多)	5 059	4 730	107.0	赤坂(中央)	4 479	6 094	73.5	大名(中央)	882	230	383.5
東光(博多)	3 864	3 652	105.8	高宮(中央)	4 664	6 334	73.6	今津(西)	1 076	289	372.3
多々良(東)	6 956	6 672	104.3	福浜(中央)	2 411	3 217	74.9	城浜(東)	1 398	389	359.4
【年少人口割合】				【生産年齢人口割合】				【老年人口割合】			
校区 (行政区)	人口	年少人口	年少人口割合	校区 (行政区)	人口	生産年齢人口	生産年齢人口割合	校区 (行政区)	人口	老年人口	老年人口割合
	人	人	%		人	人	%		人	人	%
照葉(東)	3 769	1 276	33.9	東住吉(博多)	7 872	6 408	81.4	曲淵(早良)	202	82	40.6
金武(西)	5 116	1 175	23.0	高宮(中央)	10 998	8 667	78.8	城浜(東)	3 927	1 398	35.6
三苦(東)	8 937	1 795	20.1	春吉(中央)	11 255	8 845	78.6	志賀島(東)	1 749	617	35.3
下山門(西)	9 397	1 838	19.6	堅粕(博多)	9 307	7 312	78.6	能古(西)	790	274	34.7
原北(早良)	7 559	1 455	19.2	住吉(博多)	7 331	5 721	78.0	今津(西)	3 147	1 076	34.2

2. 人口動態（平成22年1～12月）

(1) 自然動態

出生数増加するも、自然増加数は減少

平成22年（1～12月）の自然動態（出生と死亡の数）は、出生数14,506人、出生率（人口1,000人当たりの出生数）10.33‰（パーミル）、死亡数10,158人、死亡率（同死亡数）7.23‰で、自然増加数は両者の差4,348人、自然増加率（同自然増加数）は3.10‰となっています。

表7 自然動態の推移

年	自然増加数 人	出生数 人	死亡数 人	自然増加率 ‰
平成13年	5 366	13 243	7 877	4.12
14年	4 959	13 135	8 176	3.77
15年	4 706	13 024	8 318	3.55
16年	4 468	12 978	8 510	3.34
17年	3 780	12 542	8 762	2.80
18年	4 340	13 255	8 915	3.19
19年	4 817	13 921	9 104	3.51
20年	4 323	13 977	9 654	3.13
21年	4 866	14 207	9 341	3.49
22年	4 348	14 506	10 158	3.10

平成21年（1～12月）と比較すると、出生数は昨年より299人増加し（前年比2.1%増）、5年連続で増加となった一方で、死亡数も前年より817人増加したため（同8.7%増）、自然増加数は518人減少（同△10.6%）となりました。

行政区別に見ると、東区が出生数3,075人、死亡数2,032人とともに最も多く、自然増加数も1,043人（前年比6.0%増）と、5年連続で増加しています。

また、東区と中央区以外の区は、出生数の増加を死亡数の増加が上回ったことから、前年に比べて自然増加数が減少しています。

自然増加数は、ここ5年ほどは増減を繰り返していますが、福岡市でも高齢化が進んでおり、今後、死亡数が増加していくことが予想されることから、出生数の動向が自然動態を左右すると考えられます。

表8 自然動態

市・区	平成21年			平成22年					
	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加数	増加率	出生数	増加率	死亡数	増加率
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	4 866 (3.49)	14 207 (10.19)	9 341 (6.70)	4 348 (3.10)	△ 10.6	14 506 (10.33)	2.1	10 158 (7.23)	8.7
東 区	984 (3.57)	2 892 (10.49)	1 908 (6.92)	1 043 (3.74)	6.0	3 075 (11.02)	6.3	2 032 (7.28)	6.5
博多区	840 (4.33)	2 185 (11.27)	1 345 (6.93)	686 (3.49)	△ 18.3	2 145 (10.92)	△ 1.8	1 459 (7.43)	8.5
中央区	523 (3.21)	1 523 (9.35)	1 000 (6.14)	555 (3.37)	6.1	1 644 (9.99)	7.9	1 089 (6.62)	8.9
南 区	785 (3.23)	2 406 (9.89)	1 621 (6.66)	616 (2.53)	△ 21.5	2 430 (9.97)	1.0	1 814 (7.44)	11.9
城南区	287 (2.37)	1 097 (9.06)	810 (6.69)	268 (2.22)	△ 6.6	1 174 (9.70)	7.0	906 (7.49)	11.9
早良区	779 (3.72)	2 143 (10.23)	1 364 (6.51)	619 (2.95)	△ 20.5	2 050 (9.78)	△ 4.3	1 431 (6.82)	4.9
西 区	668 (3.56)	1 961 (10.45)	1 293 (6.89)	561 (2.95)	△ 16.0	1 988 (10.46)	1.4	1 427 (7.51)	10.4

注）（ ）内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの自然増加数、出生数、死亡数。

(2) 社会動態（市外移動）

5,199人の増加、都心部に集中

平成22年の社会動態（市外との転出入の数）は、転入者数70,727人、転入率（人口1,000人当たりの転入者数）50.36%、転出者数65,528人、転出率（同転出者数）46.65%で、社会増加数は両者の差5,199人、社会増加率（同社会増加数）は3.70%となっています。

平成21年と比較すると、転入者数は2,135人減少し、転出者数も2,267人減少と、ともに減少しましたが、転入者と転出者の差である社会増加数は132人増加しており、転入超過の状態は平成8年以降続いています。

行政区別に見ると、都心部に位置する博多区が、転入者数、転出者数ともに最も多く、次いで東区、中央区の順になっています。社会増加数は、博多区、中央区、東区の順に多くなっています。

南区と城南区は転出者の方が多く、南区は4年連続で社会増加数が減少して

います。

人口動態の構成を見ると、都心部の博多区と中央区は、自然増加数より社会増加数の方が多くなっており、前年は自然増加数の方が多かった西区でも、社会増加数が自然増加数を上回り、福岡市全体を見ても、社会増加数による増加が自然増加数による増加を上回っています。

図5 人口動態の構成

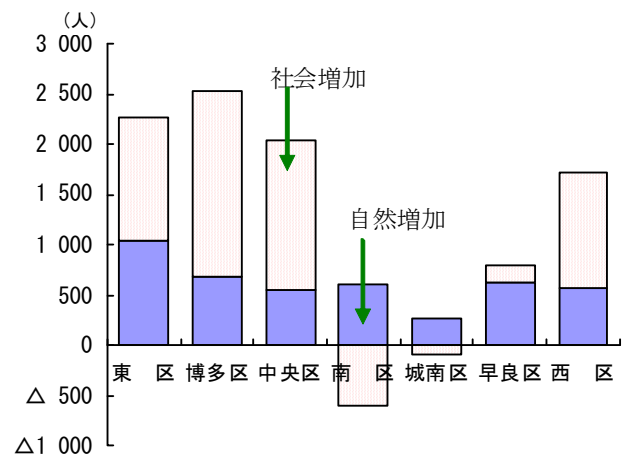


表9 社会動態（市外移動）

市・区	平成21年			平成22年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	増加率	転入者数	増加率	転出者数	増加率
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	5,067 (3.63)	72,862 (52.27)	67,795 (48.63)	5,199 (3.70)	2.6	70,727 (50.36)	2.9	65,528 (46.65)	3.3
東区	1,008 (3.66)	13,606 (49.36)	12,598 (45.70)	1,219 (4.37)	20.9	13,307 (47.67)	2.2	12,088 (43.31)	4.0
博多区	2,163 (11.15)	14,999 (77.33)	12,836 (66.18)	1,854 (9.44)	14.3	14,323 (72.91)	4.5	12,469 (63.47)	2.9
中央区	1,071 (6.57)	11,516 (70.70)	10,445 (64.12)	1,485 (9.03)	38.7	11,881 (72.23)	3.2	10,396 (63.20)	0.5
南区	△309 (△1.27)	11,007 (45.26)	11,316 (46.53)	△597 (△2.45)	93.2	10,068 (41.29)	8.5	10,665 (43.74)	5.8
城南区	193 (1.59)	5,018 (41.43)	4,825 (39.83)	△97 (△0.80)	△150.3	4,637 (38.33)	7.6	4,734 (39.13)	1.9
早良区	222 (1.06)	8,663 (41.35)	8,441 (40.29)	185 (0.88)	△16.7	8,462 (40.36)	2.3	8,277 (39.47)	1.9
西区	719 (3.83)	8,053 (42.91)	7,334 (39.08)	1,150 (6.05)	59.9	8,049 (42.37)	0.0	6,899 (36.32)	5.9

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの社会増加数、転入者数、転出者数。

3. 人口移動状況（平成22年1～12月）

(1) 福岡都市圏との人口移動

転出超過が続く

福岡都市圏との人口移動状況は、転入者は13,211人（対前年増加率1.1%）、転出者は13,967人（同△1.4%）で、756人の転出超過となっています

地域別に見ると、筑紫地域との移動が最も多く、次いで糟屋地域、糸島市の順になっています。

転入・転出者数の差し引きを見ると、転入超過は宗像地域と糸島市、転出超過は筑紫地域と糟屋地域となっており、特に糟屋地域への転出が多くなっています。

(2) 全国地方別人口移動

約6割が九州・沖縄地方との移動

全国地方別に人口移動状況を見ると、九州・沖縄地方との転出入が最も多く、

表10 福岡都市圏との人口移動状況

地 域	転入者数				転出者数				転入超過数 (△は転出超過数)	
	平成21年	平成22年	構成比	増加率	平成21年	平成22年	構成比	増加率	平成21年	平成22年
	人	人			人	人			人	人
総 数	13 061	13 211	100.0	1.1	14 161	13 967	100.0	△ 1.4	△ 1 100	△ 756
筑 紫 地 域	5 975	5 996	45.4	0.4	6 135	6 122	43.8	△ 0.2	△ 160	△ 126
糟 屋 地 域	4 145	4 250	32.2	2.5	4 906	5 035	36.0	2.6	△ 761	△ 785
宗 像 地 域	1 315	1 282	9.7	△ 2.5	1 253	1 135	8.1	△ 9.4	62	147
糸 島 市	1 626	1 683	12.7	3.5	1 867	1 675	12.0	△ 10.3	△ 241	8

注)筑紫地域…筑紫野市, 春日市, 大野城市, 太宰府市, 那珂川町 糟屋地域…古賀市, 宇美町, 篠栗町, 志免町, 須恵町, 新宮町, 久山町, 粕屋町 宗像地域…宗像市, 福津市

表11 地 方 別 転 入 ・

地 方	平 成 20 年			平 成 21 年			転	
	転入	転出	転入超過数 (△は転出超過)	転入	転出	転入超過数 (△は転出超過)	転	
							総数	増加率(%)
総 数	74 425	69 378	5 047	72 862	67 795	5 067	70 727	△ 2.9
北 海 道	465	475	△ 10	480	421	59	546	13.8
東 北	571	479	92	603	433	170	565	△ 6.3
関 東	10 692	14 327	△ 3 635	10 877	13 937	△ 3 060	10 653	△ 2.1
北陸甲信越	537	538	△ 1	630	561	69	551	△ 12.5
東 海	2 250	2 685	△ 435	2 480	2 395	85	2 130	△ 14.1
近 畿	5 288	5 749	△ 461	5 392	5 805	△ 413	5 079	△ 5.8
中 国	4 442	3 685	757	4 098	3 447	651	3 895	△ 5.0
四 国	1 014	814	200	868	828	40	963	10.9
九州・沖縄	48 003	39 327	8 676	46 085	38 691	7 394	45 145	△ 2.0
国 外	1 159	1 298	△ 139	1 349	1 273	76	1 200	△ 11.0
住 所 不 明	4	1	3	—	4	△ 4	—	—

注1) 東北地方……青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県 関東地方……茨城県, 福井県, 山梨県, 長野県 東海地方……岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県 近畿地方……
島根県, 山口県 四国地方……徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県 九州・沖縄地方……福岡
2) 都道府県別の転入・転出者数, 福岡都市圏の市町村別転入・転出者数は97, 98ページに掲載

転入者数は45,145人（対前年増加率△2.0%）、転出者は38,077人（同△1.6%）で、7,068人の転入超過となっています。

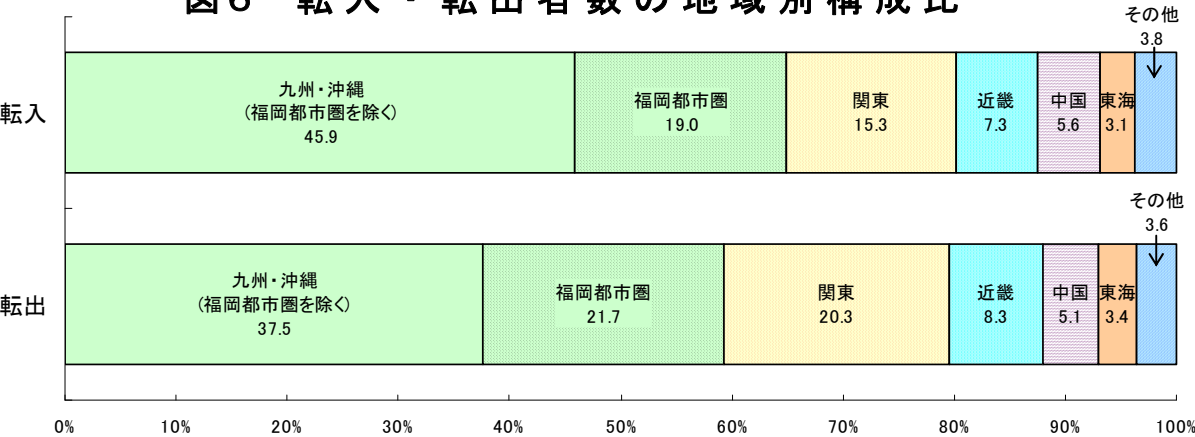
次いで、関東地方が転入者数10,653人（同△2.1%）、転出者数が13,070人（同△6.2%）で、2,417人の転出超過となっており、以下、近畿地方が転入者数5,079人、転出者数5,347人で268人の転出超過、中国地方が転入者数3,895人、転出者数が3,264人で631人の転入超過となっていま

す。

転入者数・転出者数ともに、九州・沖縄地方との移動が約6割、関東地方との移動が約2割を占めています。

福岡市の人口移動の特徴としては、九州・沖縄地方からは流入し、福岡都市圏と関東地方へ流出していると言えます。

図6 転入・転出者数の地域別構成比



注) 国外、不明を除く

転出者数

(単位：人)

平成22年									
入		転出				転入超過数 (△は転出超過数)			
男	女	総数	増加率(%)	男	女	総数	男	女	
37 456	33 271	65 528	△ 3.3	35 177	30 351	5 199	2 279	2 920	
307	239	454	7.8	253	201	92	54	38	
328	237	503	16.2	285	218	62	43	19	
6 304	4 349	13 070	△ 6.2	7 299	5 771	△ 2 417	△ 995	△ 1 422	
325	226	557	△ 0.7	315	242	△ 6	10	△ 16	
1 285	845	2 172	△ 9.3	1 289	883	△ 42	△ 4	△ 38	
2 953	2 126	5 347	△ 7.9	3 002	2 345	△ 268	△ 49	△ 219	
2 112	1 783	3 264	△ 5.3	1 870	1 394	631	242	389	
557	406	810	△ 2.2	485	325	153	72	81	
22 772	22 373	38 077	△ 1.6	19 849	18 228	7 068	2 923	4 145	
513	687	1 274	0.1	530	744	△ 74	△ 17	△ 57	
—	—	—	△ 100.0	—	—	—	—	—	

栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 北陸甲信越地方……新潟県、富山県、石川県、
…滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 中国地方……鳥取県、島根県、岡山県、広島
県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県